

Satsumasendai City Public Relations

広報  
薩摩 内  
さつませんだい

4

April.2020  
vol.372



特集  
食べ物への感謝を忘れずに

「食品ロスを減らそう」



## 令和2年第1回市議会定例会

# 施政方針の概要

令和2年2月26日に開会した第1回市議会定例会において、岩切秀雄市長が述べた市政に関する考え方や方針の概要を紹介いたします。なお、全文は市ホームページ上でも紹介しています。



薩摩川内市長  
岩切 秀雄

### 本市をめぐる最近の動き

1月22日、川内港の利用促進に関係する企業・団体で組織する「川内港整備促進期成会」の活動として、国土交通省に対し、県北西部地域の産業の競争力強化を支え、アジアとともに成長する川内港の整備促進を要望しました。

東京オリンピックについては、男子バレーボールアルゼンチン代表チームのオリンピック事前キャンプの実施について、「2020年東京オリンピック競技大会事前キャンプに関する協定書」を締結いたしました。市民との交流はもちろん、オリンピック後の交流人口の拡大につながるよう努めます。

2月9日には、川内原子力発電所の重大事故を想定した原子力防災訓練を、県とUPZ内の9市町の主催により実施し、地域住民の防災意識の向上や関係機関相互の連携の強化を図りました。今後、県など関係機関と十分協議を行いながら、原子力防災対策のさらなる実効性の向上に努めます。

新型コロナウイルスによる肺

炎拡大への対応については、1月31日から新型コロナウイルス対策推進部を設置し、2月20日には福岡市内での感染者確認の報道を受け、同日付で、対策本部に格上げし、市民への感染情報の提供や相談窓口の設置、感染予防対策の周知・啓発を図っているところであります。今後とも保健所や医療機関などとの緊密な連携を図り、対応に万全を期します。

### 本年度の施策概要

第201回通常国会の施政方針演説において、安倍晋三内閣総理大臣は、①復興五輪、②地方創生、③成長戦略、④一億総活躍社会、⑤外交・安全保障の五本柱で政策を推進し、特に、一億総活躍社会では、全世代型社会保障制度を目指して改革を実行するとし、子育て支援については、「希望出生率1.8」の実現を目指し、深刻さを増す少子化の問題に真正面から立ち向かう」と述べられています。

本市においても、人口減少、少子高齢化への対応は急務であり、少子化対策を図るとともに、強いまちづくりや人に優しい魅力ある移動システムの構築など、地域課題の解決を目指しつつ、脱炭素社会に向けた持続可能なまちづくりを実現するための可能性調査を新たにを行います。

⑦健康・福祉対策  
保健事業、国民健康保険事業および介護保険制度の地域支援事業の一体的な実施を推進するとともに、医療的ケアを必要とする在宅の重度障害児などの医療機関への一時入所を支援し、家族の負担を軽減する事業を新設するなど、安心して医療・福祉が受けられる社会の実現を目指して、各般の取り組みを進めます。

⑧国土強靱化・社会基盤の充実  
大規模な自然災害などに備え、川内川河口部の高潮対策や市街部未整備区間の堤防強化などの事業促進、南九州西回り自動車道の薩摩川内水引インターチェンジ（仮称）湯田西方インターチェンジ間の早期の工事着手に向け、国への要望や取り組みを引き続き強化します。

⑨消防行政  
聴覚・言語機能障害者の

生産年齢人口の減少による働き手の不足に対して適切に対応し、人口減少による経済活動の縮小を補うよう官民一体となつて取り組みを進める必要があります。

①少子化対策  
結婚・妊娠・出産・育児まで切れ目のない総合的な支援を行い、家庭と仕事の両立を理解し支援する「イクボス」の育成や、女性の職業生活における活躍を積極的に推進します。

子育て支援については、市独自の保育料の第2子半額、第3子以降無料のほか、深刻さを増している保育士の確保についても継続して取り組み、安心して子どもを産み育てることのできる環境づくりを進めます。

119番通報を円滑にするための緊急通報システムを導入し、さらに消防指令管制システムの一部更新や機能別団員制度を導入するなど、市民生活の安全・安心の確保に努めます。

⑩教育の振興  
教育大綱および教育振興基本計画第二期計画に基づき、新学習指導要領への円滑な移行と小中一貫教育の充実、コミュニティスクールの全校実施を進めるとともに、学級経営の充実を基盤とした学力向上に努めます。また、家庭教育・青少年教育の充実にも努めるとともに、長寿化計画に基づく計画的な学校施設の整備に着手します。

⑪甌島地域の振興  
甌島住民の長年の夢でありました蘭牟田瀬戸架橋の建設工事については、いよいよ完成までの最終段階にあります。今後、「甌島地域一体化方針」に基づき、島民の一体感の醸成と効率的な行政運営などによる持続可能な地域社会の構築を目指して取り組みます。

②人口減少対策  
子育て世代に着目し、これまでの定住促進補助制度の対象地域を拡大することで全市域での転入増を図るとともに、空き家バンクを利用して本市への移住を促進する新たな制度により、急激に進む人口減少の緩和に取り組みます。

③観光・スポーツ振興  
9月には全国市町村交流レガッタ薩摩川内大会が川内川漕艇場で開催され、いよいよ10月には、かごしま国体が開幕します。多くの選手や大会関係者、観客の皆さまをしっかりと迎えることができるよう、官民一体となりさらなる気運の醸成と、本市らしいおもてなしの充実を図り、大会終了後においても交流人口の拡大につながるよう努めます。

④農林水産業の振興  
「第三次薩摩川内市農業・農村振興基本計画」および「第二次薩摩川内市六次産業化基本計画」の内容に沿って、担い手の確保・育成、耕作放棄地の発生抑制、有害鳥獣被害の防止などの他、効果的な販路開拓など

### 予算の大綱

国におきましては、「経済再生なくして財政健全化なし」の基本方針の下、「デフレ脱却・経済再生と財政健全化に一体的に取り組む」として取り組まれます。

本市におきましても、健全な行政運営に努めながら、総合戦略に掲げる事業を最優先事業と位置付け、「安心と活力を未来につなげる架け橋予算」を編成したところであります。

### 結び

最後に、本年度も各種施策を展開・推進するに当たり、市民の皆さまのより一層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

⑤商工業の振興  
働き手不足の深刻化、事業者の後継者不足の顕在化に対し、U・Iターン者、地元人材の確保などに努めるとともに、中小企業の事業継続・拡大支援および創業支援を積極的に行います。

外国人労働者については、その円滑な受け入れや生活支援などの相談に応じます。

川内港久見崎みらいゾーン開発事業については、今夏には目指すべき産業立地のイメージを取りまとめ、竹パイオマス産業都市構想の取り組みとも連動させながら、令和4年度末からの分譲につなげていきたいと考えております。

⑥次世代エネルギーの推進  
太陽光、水力、風力およびバイオマス発電の普及啓発に努め、地域資源を活用した再生可能エネルギーを利用し、災害に



食品ロスとは、まだ食べられるのに廃棄されてしまう食品のことです。日本では、食品廃棄物が年間2759万トンで、そのうち食品ロスは643万トンと推計(平成28年度・農林水産省・環境省)されています。これは国民1人当たりご飯茶碗1杯分(約139g)の食べ物(毎日)廃棄されていることになります。

食品ロスの半分は食品の製造・流通・販売の過程で生じる事業系ロスで、もう半分が家庭から発生していますので、事業者と消費者が一緒になって食品ロス削減に取り組む必要があります。

### 食品ロスを減らす目的

- ごみの量を減らして、環境負荷を低減する。
- 無駄をなくして日本の食料自給率を高める。
- ものを大切にする「もったいない」の心を養う。

### 家庭での食品ロス発生理由ランキング

- |        |        |       |
|--------|--------|-------|
| 1位     | 2位     | 3位    |
| ●食べ残した | ●傷んでいた | ●期限切れ |

# 食べ物への感謝を忘れずに ～食品ロスを減らそう～



市内で子ども食堂「おばちゃんち」を営む皆吉縁さんは、昔は親の帰りが遅いときは、近所のおばちゃんが「ご飯を食べていきなさい」と声を掛けてくれて食べさせてくれるなど、ご近所とのつながりがあったが、現在はそれがあまり見られなくなっていると感じ、「おばちゃんちでご飯を食べていきなさい」という思いから、子ども食堂を始めました。

使用する食材の一部は地元(薩摩川内市)の農家さんから、少し傷ついたもの、形がきれいではないもの、大きく育ち過ぎたものなど、品質的には全く問題ないのに販売することができない野菜を譲っていただいたり、まだ食べられるのに廃棄されてしまう食品を企業などからの寄附を受け、必要としている施設などに無料で提供するフードバンクからお菓子やジュースを提供していただいています。

子ども食堂では、料理を食べるだけでなく、子どもや親たちと料理を作るところから始めます。そうすることで、食品に興味を持ってもらえたり、嫌いな物も食べてもらえたりするそうです。

皆吉さんは「子どもたちには、食事の中で、肉や魚などの命をいただくことと農産物などを生産してくださる方への感謝を忘れてほしくない」と語っていました。

生協コープかごしまでは、組合員さんたちの声をきっかけに約10年前から農産物の「ちょっとパック」を販売しています。ちょっとパックは、キャベツ4分の1玉、ニンジン1本、ブロッコリー2分の1房など、食べ切れる量を販売するものです。今では皆さんからの需要もあり、精肉、鮮魚などでもちょっとパックを販売しています。

その他にも、賞味期限や消費期限が近付いた商品に値引きシールを貼り、販売しています。値引き商品を購入していただくことは、お客さまの家計にも優しく、お店としても廃棄をなくすことにつながり、廃棄コストの削減にもつながります。生産者が思いを込めて作った食品を無駄にしたくないと思います。このような取り組みをしています。

お客さまには、買い物前に冷蔵庫をチェックしていただき、必要な物を計画的に購入していただくことをお勧めします。



賞味期限・消費期限が近づき、割引された商品



▲使い切りサイズの「ちょっとパック」



生活協同組合コープかごしま  
コープ川内店 店長  
あかいし まさひと  
赤石 正仁さん

## 食品ロス削減に取り組む市内事業者さん



道の駅榎脇遊湯館 料理長  
まきまの 外園 政美さん



道の駅榎脇遊湯館では、産直売場として農産物や鮮魚などを販売しています。鮮度の高い食材を販売するため、品目ごとに販売日数(1〜5日間)を決め、徹底管理をしています。販売日数を過ぎたものは、生産者に返品しなければなりません。

理想は売り切ることですが、残ってしまう食材もあり、生産者の許可をいただいたもの(菊芋)に限り、お店が買い取り、総菜コーナーや食堂で提供する料理に生まれ変わらせます。これは、生産者が作られた農産物などを少しでもお客さまに食べていただけるように工夫した取り組みです。どんな料理に生まれ変わらせるかは料理長である私の仕事です。例えば、ほうれん草は、だしで煮ておひたしに、菊芋はしょうゆと砂糖で煮て甘煮にしました。

購入していただいた農産物なども、どのように調理したらおいしく、残さず食べられるのか、そんなことを皆さんに知っていただけたら、生産者の方にも喜んでいただけたらと思います。



⑤使用しなかった食材は適切に保存しましょう。



【肉、魚】…フリーザーバッグに入れて冷凍  
 【キャベツ、ホウレン草、小松菜などの葉物野菜、ネギ、ショウガ、ニンニク、キノコ類(根元切り落とし)】……食べやすいサイズにカットしフリーザーバッグに入れて冷凍  
 【ジャガイモ、タマネギ】……新聞紙でくるんで、冷暗所に保存  
 【ニンジン】……新聞紙でくるんで、冷蔵庫に保存



POINT 外食や宴会などの幹事の方に知ってほしいルール



- 適量を注文しましょう。(小盛りメニューやハーフサイズも活用)
- おいしく食べ切るように声掛けしましょう。
- 開始30分、終了前10分は「食べきりタイム」を設けましょう。(3010運動)
- 食べきれない料理はみんなでシェアしましょう。
- それでも食べ切れない場合は、お店に確認をして持ち帰ることを考えましょう。

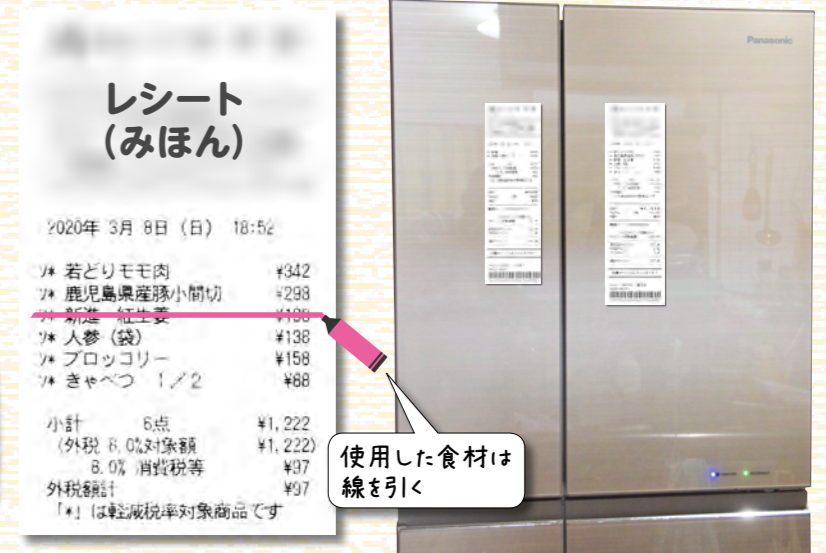
食品ロス削減を進めるためには、一人一人が食品ロスの現状やその削減の必要性についての認識を深め、自ら主体的に取り組むことが最も重要です。  
 料理には、肉・魚・野菜などの食材を生産する生産者、それらを調理する方、販売する方全ての思いが込められています。食品やそれを提供してくださる方への感謝を忘れず、大切に食品をいただくことから始めてみましょう。



家庭で今すぐできる取り組み

①家にある食材をまずは把握、そして、必要な分だけ購入しましょう。

POINT  
 冷蔵庫に購入済みの食材のレシートなどを貼り、何が中に入っているのか把握しましょう。



②すぐ使う食品は消費期限・賞味期限が近い、商品棚の手前から取りましょう。

③食べ切れる量を調理し、食べ切りましょう。

④食材を使い切りましょう。



POINT  
 消費者庁では残った食材の使い切りレシピや、捨ててしまいかちな野菜の皮やブロッコリーの芯などを活用したレシピ、作り過ぎて残った料理のアレンジレシピなどを掲載しています。皆さんも活用してみましょう。

消費期限と賞味期限

食品の期限表示には消費期限と賞味期限があり、いずれも開封していない状態で、表示されている保存方法で保存した場合の期限が表示されています。

**消費期限:** 食べても安全な期限です。傷みやすいものに表示されています。

**賞味期限:** 品質が変わらず、おいしく食べられる期限です。賞味期限を過ぎて色やにおい、味などをチェックして異常がなければ、まだ食べることができます。

